

# 早期体験実習における基礎臨床統合型実習の効果とカリキュラム改善にむけた取り組み

西田憲生、常山幸一、池田康将、赤池雅史  
徳島大学大学院医歯薬学研究部

## 1. 背景・目的

医学生にとって、基礎医学と臨床医学を早期に統合して学ぶことは、学問体系の理解を深め、医療に対する姿勢を形成する上で極めて重要である。医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）では、初学の段階で臨床に触れる機会を提供する統合的な教育を重視しており、特に早期体験実習（Early Clinical Exposure: ECE）の導入が推奨されている。本学では、初年次の医学生が基礎医学と臨床医学を同時に学べる体験型学習を通して、学習意欲や基礎的理解の向上を目指し、従来の臨床現場体験に加えて、2021年度から垂直統合型の基礎臨床統合実習をECEプログラムとして導入した。このプログラムは、基礎系と臨床系の異なる視点から1つのテーマについて学ぶ機会を提供し、実践的な学習を通じて医学生としての自覚と学問体系の理解を促進することを目的としている。さらに、2023年度からは、基礎臨床統合実習に加えて、コロナ禍で中断していた従来の臨床現場見学も再開し、ECEのさらなる充実を図っている。本調査では、ECEプログラムの効果を評価し、カリキュラム改善の方向性を明らかにすることを目的とした。

## 2. 方法

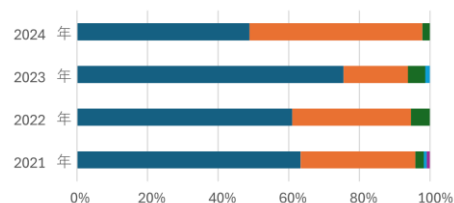
2021年度から2024年度にECEを体験した医学科1年生から4年生の学生を対象に、ECEプログラムが学生の学習意欲や基礎・臨床医学への意識に及ぼす影響を評価するため、アンケート調査を2024年3月に実施した。アンケートは、Microsoft Formsを用い、Webアンケート方式で実施した。早期体験実習を体験した学生（2年次か

ら4年次）には、(1)基礎医学の学修に対するECEの影響、(2)基礎医学と臨床医学に対する意識の変化、(3)垂直統合型プログラムの充実度、について質問をした。早期体験実習の授業評価アンケートと比較して、受講後の意識変化の経時的な変化について検討を行った。

## 3. 結果と考察

授業評価アンケート結果の分析から、ECEプログラムは、2021年から2024年の各年度で、90%以上の学生が「ECE体験によって学修意欲が湧いた」と回答していた。また、全体の95.0%の学生が「ECEプログラムに満足している」と評価し、基礎臨床統合実習プログラムを高く評価していた（図1）。

Q. 総合的にみて、基礎臨床統合実習に満足しましたか。



Q. 基礎臨床統合実習によって今後の学修に対する意欲が湧きましたか。

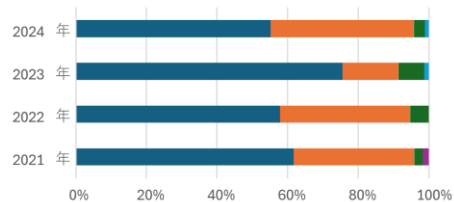


図1 授業評価アンケートの結果

■ 全くそう思う ■ そう思う ■ どちらでもない ■ そう思わない ■ 全くそう思わない

次に、2年次から4年次の学生を対象に、1年次のECEの経験が、低学年（1-3年次）の学修に影響を与えたかについて質問した。基礎臨床統合実習のみを体験した2021年度および2022年度の学生と、臨床現場見学も経験した2023年度の学生の比較では、臨床現場見学を加えた学生の方が基礎医学の学修に影響したと回答した学生が多かった（図2）。

<受講後の意識変容・2-4年次>

Q. 早期体験実習は基礎医学の学習に影響したと思いますか。

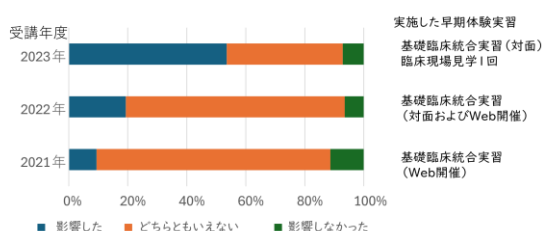
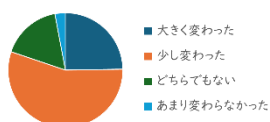


図2 ECE 受講後の影響

臨床医学を学習している学生（4年次・5年次）は、75%の学生が臨床医学を学び始めてから基礎医学への意識が変わったと回答し、その多くは、基礎医学の重要性について言及していた。また、50%以上の学生が、基礎医学講義のなかで臨床医学との関連性を学ぶ機会が不十分であると回答していた（図3）。

Q. 臨床医学を学び始めてから基礎医学への考え方が変わりましたか。



Q. 基礎医学講義のなかで臨床医学との関連性を学ぶ機会是十分だと思いますか。



図3 基礎医学への認識の変容

基礎臨床統合実習の実施直後におけるアンケート結果からは、学修意欲の向上や実習への満足度が高く評価されたことが示された。一方で、1年次以降の学修に基礎臨床統合実習での学びの効果が持続されているか、という点については、2021年、2022年の受講生では、大きな影響がなかった一方で、2023年受講生の50%が基礎臨床統合実習が基礎医学の学習に影響したと回答していたが、その理由は以下の2点が考えられた。1つ目は、2023年に受講した学生は、受講後1年以内のアンケート実施であったため、実習内容の記憶が残っている、専門科目の講義の受講回数

が少ないこと、が影響している可能性がある。2つ目は、2023年から臨床現場見学実習を再開していたことが挙げられる。実際に、ECE全体のプログラムで最も印象に残ったことを尋ねると、臨床現場体験実習に関することが最も多く挙げられていた。ECEプログラムは学習意欲の向上に効果的であるが、その効果の持続性についての検討が必要である。また、基礎医学講義での垂直連携型講義に関しても、50%以上の学生が不足していると回答しており、ECE後のシームレスなプログラムの構築が望まれる。

#### 4. 結語

本研究では、基礎臨床統合型実習を含むECEプログラムが学生の基礎医学と臨床医学の連携理解を深め、学習意欲を高める効果が確認された。特に、臨床現場見学を加えたECEプログラムは、学生が基礎知識と臨床実践の関連性を理解し、自主的な学習行動を促進する上で有用であることが示された。しかし、基礎臨床統合実習のみでは、長期的な学習行動の変化を促すには不十分である可能性がある。今後は、講義と臨床実習を一層統合し、学生が学問的知識を臨床に応用できるようなカリキュラムの再構築が必要であると考えられた。

#### 参考文献

- (1) 医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）、文部科学省のホームページ  
 ( [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext\\_01280.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html) )